

県内視察報告

1月下旬に春日部市立江戸川小中学校を視察させていただきました。同校は、小学校6年間、中学校3年間という枠にとらわれず、9年間の就業年数の中で枠を柔軟に変更するなど、9年間の義務教育を一つの学校で一貫して行う「義務教育学校」という、2016年に新設された制度で運営された県内最初の学校(県内全2校)です。

同校は、児童生徒数の減少に伴い、地域からの声を受け、中学校1校と小学校2校を合併する形で開校され、学区外からも入学できる小規模特認校、学校選択制が導入されています。2台のスクールバスが運行され、保護者に送迎、公共交通機関による通学も認められています。校長先生にもお話を伺いましたが、下記に示された教育の実践に大きな成果を実感されていました。

教育課程 -ジュニア・ミドル・ハイで9か年一貫教育-

発達の段階を踏まえた「3つの『ステージ [STAGE]』」

ジュニアステージ

第1学年～第4学年

繰り返して学び、活動することをとおして、学校生活全般についての基礎・基本を身に付ける。

- ・1単位45分の授業
- ・学級担任制の授業
- ・4学年の児童生徒会活動への参画(一部)
- ・発達の段階に即した「(学校)生活の約束」の作成と運用
- ※令和5年度は3・4学年の算数で教科担任制

ミドルステージ

第5学年～第7学年

身に付けてきた学校生活全般についての基礎・基本を踏まえながら、様々な活動に取り組み、意欲的に学ぶ。

- ・1単位50分の授業
- ・学級担任制と教科担任制の併用による授業(5・6学年)
- ・教科担任制による授業(7学年)
- ・希望制による部活動加入(5・6学年)
- ・発達の段階に即した「(学校)生活の約束」の作成と運用
- ・児童生徒会への加入

ハイステージ

第8学年・第9学年

基礎・基本を踏まえて、よりよい学校生活をつくり出すためのアイデアを出し合い、主体的に学ぶ。

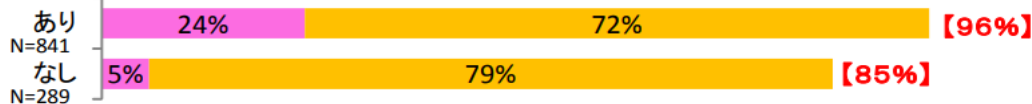
- ・1単位50分の授業
- ・教科担任制による授業
- ・一部の教科における少人数指導による授業
- ・進路、キャリア学習の充実

義務教育の9年間に一貫性を持たせることは川越市でも当然求められることであり、義務教育学校という制度はその方法の一つです。地域の現状に合わせ、本市でも検討すべき時期に来ていると考えています。

<参考> 小中一貫教育の各取組と小中一貫教育の成果の認識の状況 平成28年文部科学省資料より

■ 大きな成果あり ■ 成果あり

<9年間の一貫した学校教育目標・カリキュラムの設定の有無と小中一貫教育の成果の認識>



第57回 川口けいすけ議会報告会

日時：2月24日(土) 13:30～16:30

場所：東部地域ふれあいセンター会議室2

内容：12月議会報告、皆様からのご意見ご質問、その他。

* この会は後援会等の集まりではありません。出入り自由。



東部地域ふれあいセンター 049-236-2360

提案型地域情報誌グリーンズ川越は、2003年より政治を身近にしていくための活動の1つとして始め、2007年からは議員活動報告をプラスし、私の考え方と共に皆様にお届けしているニュースです。なお、手配りのためにタイムリーにお届けできない場合がありますがご了承下さい。バックナンバーをご希望の場合はお届けします。ホームページでも見ることができます。 [川口けいすけ] で検索!



この紙面の配布にご協力いただける方は、下記までご連絡いただければ幸いです(範囲・枚数は出来る限りで結構です)。

E-mail kawaguchi-keisuke@outlook.com

TEL 080-3025-5776



